

| 会 議 記 録 | | | |
|-----------|---------------------------|-------|---------------------------|
| 会 議 の 名 称 | 広報広聴特別委員会 | | 会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅・池永 |
| 日 時 | 平成25年1月8日(火曜日) | | 開 議 午前 10時 00分 |
| | | | 閉 議 午前 11時 30分 |
| 出席委員 | 菱田 福井 苗村 山本 西村 明田 石野 木曾議長 | | |
| 事務局出席者 | 今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永 | | |
| 傍聴者 | 市民1名 | 報道関係者 | - 名 |

会 議 の 概 要

10:00～

1 開議

- 菱田委員長あいさつ -

2 議事

- (1) 議会だより 155(12月定例会号)の編集について
(ア) 原稿及び写真の確認

<福井副委員長>

レイアウト表に沿って内容の確認を行う。委員会終了後、印刷業者と打ち合わせを行い、原稿を出稿するのでよろしく願います。

[P 1]

<福井副委員長>

トップ写真については、元旦ロードレース及び消防出初め式について、各委員及び事務局が撮影したものを収集し6点を選定した。この中から候補とする写真を決定したい。

<明田委員>

か がよい。

<西村委員>

同様である。

<山本委員>

がよい。

<石野委員>

か がよい。

<苗村委員>

か 、どちらかということ がよい。

<菱田委員長>

がよい。

<福井副委員長>

と を候補として、印刷業者と調整することとしたい。

<明田委員>

両方の写真とも下部分の地面の割合が若干多いと感じる。調整願いたい。

<福井副委員長>

バランスを考慮し調整する。どちらかということ を第1候補とし、 を第2候補とすることでよいか。 <了>

[P 2 ~ 3]

<福井副委員長>

12月定例会のクローズアップとしては、6ページからの常任委員会の審査報告の掲載記事につながる内容をピックアップした。 <了>

[P 4 ~ 5]

<福井副委員長>

環境対策、都市基盤整備対策特別委員会の活動報告を掲載する。都市基盤整備対策特別委員会のほうは、写真の選定がまだであり、5点程度掲載する予定である。環境対策特別委員会にはリード記事があるのに対し、都市基盤整備対策特別委員会ではそれが無い。これは都市基盤整備対策特別委員会で作成された原稿であるが、リード記事があったほうが良いのではないかと。また、大見出しもない。保留する。

[P 6 ~ 7]

<福井副委員長>

常任委員会の活動報告として、産業建設常任委員会の掲載内容の下には、意見書を京都府へ提出した写真を関連性があるので掲載することとした。この写真については、京都府商工労働観光部長に意見書を手渡したものであるが、その説明書は必要であるか。

<菱田委員長>

その必要はないものと思われる。 <了>

[P 8 ~ 13]

<福井副委員長>

今回から、議長、副議長、監査委員の3役は一般質問を行わないことを付記することとしたがどうか。また一般質問の執筆原稿の確認を願う。

<西村委員>

石野委員の代表質問関連写真に係り、2009年の自らの写真を掲載することは如何なものか。

<菱田委員長>

会派視察等は別として、自らの姿の写真を使用することについては、ルール化しておくべきでは。

<福井副委員長>

具体的にどういうことか。

<菱田委員長>

例えば大規模スポーツ施設の質問に係り質問者が現地でここにできるということを示して示している写真を掲載すること、そういう使い方については整理すべきと考える。

<明田委員>

本人の良識の問題である。ルール化するほどのものではない。委員長の示した例は今回のケースとは質が違う。今回は石野委員が元旦ロードレースに参加し、たまたま自分が写っていたものを使用するものであり、石野委員がその写真を控えられたらよいものである。

<苗村委員>

質問の関連写真は質問者に任せるのかがこれまでの確認事項である。取り下げても

らったらよいという意見であるが、本人が写っている写真は不可とするなど、きち
っと決めておかないと任せられないのではないか。私は別に構わないと思うが、本
人の写っている写真についての取り扱いをはっきりさせておくべき。

< 福井副委員長 >

委員長の危惧するところも理解する。石野委員もあえて2009年1月1日という
写真説明書きを入れている意図も理解するところである。どのように取り扱うか。

< 西村委員 >

今回の議会だよりは2013年1月31日発行であるので、それにマッチした写真
でないと、無理に以前の写真を使用しようとするのは、趣旨に合わない。委員長の
示した例は構わないものと思うが、以前のものを使用することに問題がある。

< 福井副委員長 >

まとめられないが、今回の写真についてどう取り扱うかということについて決めて
おきたい。

< 石野委員 >

別の写真に差し替えることとする。

< 福井副委員長 >

湊議員の大井町南部地区の写真について説明書きがないが。

< 事務局 >

写真の撮り直しを予定されているため、説明書きはまだである。

< 福井副委員長 >

個人質問の原稿についても確認願う。あわせて議場での議員顔写真についても確認
願う。写真は人物の切り抜きを行う予定である。

[P 1 4]

< 福井副委員長 >

今回、文書質問2件を掲載した。このような内容でよいか。その下の議会報告会の
掲載内容についても確認願う。文章が多くなった感もあるがどうか。

< 苗村委員 >

議会報告会の掲載については、内容を読んでもらえる項目と考える。よって、でき
る限り具体的に記事を書くべき。ボリュームがあってもよい。

[P 1 5]

< 福井副委員長 >

今回、議員研修については西村委員による原稿を掲載した。写真Tについては、前
回はくじ取り式の写真を掲載した。今回、何か提案はないか。

< 西村委員 >

議員研修の見出し「よりよい議会改革のために」を「よりよい議会運営のために」
と変更されたい。

< 福井副委員長 >

見出しについては、作業部会で見出し付けを考えたものである。そのように変更す
る。写真Tについてはどうか。意見がなければ印刷業者と調整したい。

[P 1 6]

< 福井副委員長 >

市民の声として、「本会議を傍聴して」と「議会報告会に参加して」をレイアウト
で関連付けた。その他、全体を通じてご意見を。

< 西村委員 >

2ページのギャラリーかめおか条例の一部改正について、賛成多数で可決されたもの

であるにもかかわらず、反対討論の割合が大きい。今後も反対討論は小さく掲載されたい。

<福井副委員長>

2ページについては、本会議における討論を中心とした記事を掲載する方向で確認してきた。賛成討論があれば両方の記事をつけるが、賛成討論がない場合、反対討論だけでは否決されたように思われてしまうので、文章を短くするなど、編集で苦労している。賛成多数という吹き出しを目立つように工夫したい。<了>

~ 10 : 45

(2) 次回の議会報告会について

(ア) 開催要項・会場責任者について

2月20日(水)午後7時~

西別院生涯学習センター

2月21日(木)午後7時30分~

ほんめ町ふれあいセンター

河原林生涯学習センター

<菱田委員長>

- 開催要項説明 -

<福井副委員長>

開会挨拶と趣旨説明は一緒になったのでは。

<菱田委員長>

今回は従来通りで、3月定例会の報告分から変更となる。この内容で良いか。<了>

<菱田委員長>

開会挨拶は正副議長と広報広聴特別委員長で行っているが、臨時会で変更になった場合、臨機応変に対応することで良いか。<了>

<菱田委員長>

会場責任者を決定する。

- 協議 -

<菱田委員長>

本梅は山本委員、河原林は福井副委員長、西別院は明田委員にお願いする。今月中に会場の鍵の確認を行い、2月1日の回覧に間に合うようにチラシの持参をお願いする。

(イ) 回覧チラシの取り扱いについて

(2月1日 回覧予定)

<菱田委員長>

チラシの内容は今までと同じ形で良いか。<了>

<菱田委員長>

議長に、1月31日の議員団研修の後に全員協議会の開催をお願いしたい。

<木曾議長>

了解した。

(3) 一巡後の議会報告会について

(ア)「議会報告会」の名称について

<石野委員>

基本条例にも「議会報告会を開催する」と定めているので、名称はそのままとし、その後何か柔らかい名称をつけてはどうか。

<苗村委員>

「議会報告会」だと一方的に報告をする印象を受ける、というのは、市民からのアンケートに書いてあったのか。

<菱田委員長>

個人的に話をした中で、そのような声があった。また、全議員を対象にしたアンケートにも同様の意見があったのを受け、今回検討をしている。

<苗村委員>

東本梅の報告会で「参加しやすいものにしてほしい」という意見を聞いた。名称を柔らかくするのも1つの方法である。「議会報告会」を前面に出すと一方的な感じがするので、「議会報告と語る会」など、一体のものにするようなネーミングはどうか。

<明田委員>

会場のセッティングが対面式であるなど、中身の問題もある。名称はこだわらない。中身を改善していき、定着してくれば理解されるのでは。名称は現状で良い。

<山本委員>

名称は「議会報告会」が良いが、「市民と語る会」が上から目線なので、その部分を「ふれあいミーティング」など柔らかい表現にしては。全く違う名称にすると何か分からなくなるので、「議会報告会」の名称は残した方が良い。

<西村委員>

「議会報告会」は残し「議会報告と語る会」等をサブタイトルとしては。

<福井副委員長>

「議会報告会」は無くさなくても良いが、府の「知事と和い和いミーティング」のようなものにしたい。対面式のレイアウトも考えるべきである。

<山本委員>

「議会報告会」と異なる名称は全国的にはあるのか。

<事務局>

「議会報告会」が多いようである。調べた中では、京丹後市で「市民と議会の懇談会」、佐賀市で「議会報告会：市民との意見交換会」、沖縄県読谷村で「議会報告会・村民交流会」、愛知県小牧市で「議会報告会と市民の意見を聞く会」という名称があった。

<菱田委員長>

「議会報告」という言葉を消す意見はなかったので、議会報告プラス意見交換の部分をどう表すかである。事務局を含め、意見を。

自由討議

<事務局次長>

「議会報告会&まちづくりミーティング」はどうか。

<福井副委員長>

「議会報告会：議員としゃべろう会」は。

<事務局長>

「議会報告会」を前面に出すより、市民の意見を聞くことを前面に出す方が良いの

では、「しゃべろう会」「井戸端会議」等を現代的にアレンジした「わいわい、がやがやミーティング」等、もう少し発想を変えては、「議会報告会」は小さくても良い。

<西村委員>

懇談会にもっと時間をとるならそれでも良いが、現状では前半が議会報告で後半が懇談会と半々でやっているので、「議会報告」は入れるべきでは。「議会報告会&まちづくりミーティング」「議会報告会&懇談会」のようなものにしては、時間配分によって名前も変わってくる。

<菱田委員長>

次回までに正副委員長で方向づけをして、再度協議させていただく。

(イ) 各種団体・テーマ別の報告会について

<事務局>

- 説明 -

<菱田委員長>

先日、商工会議所と懇談を行った。また農業委員会と議会が懇談したこともあり、各種団体については、一定取り組みが始まりつつある。基本条例にもあるように、議会が市民から意見を多く聞き政策提言に繋げるには、各種団体との意見交換を積極的に進めていく姿勢が必要。相手側がどういう団体であるかにより議会側の対応の仕方も変わっていくので、ケースバイケースの対応が必要ではあるが、基本的には基本条例の趣旨に沿って取り組んでいくべきである。

<苗村委員>

環境厚生で包括支援センターに行き、実態を聞く場を設けたこともある。各常任委員会では必要に応じて月例で行っている。各常任委員会で行ったり、議会としてHPやだよりを通じて様々な団体から懇談の希望を受けたり、議会からもやりたいテーマで申し入れを行ったり、議会報告会という形に限らず様々な形で議員が出た方が良い。「こうだ」という形を、あまり決める必要はないのではないかと。

<石野委員>

賛成である。

<山本委員>

「こういう形」というのを決めるのが難しい。幅広く要望に応じていく形としては。

<西村委員>

広報をして申込みがあればやれば良いが、積極的に働きかける必要はないのでは。もう行っていることなので、現状で良いのでは。

<明田委員>

個人的には地域の自治会や商業団体や社協には必ず参加しているので、限定された地域であるが、意見や要望は入ってきている。幅広く亀岡市全体をとというのは難しい。課題があれば話を聞くということで良いのでは。

<福井副委員長>

相手が若者や女性である場合は、こちらからモーションをかけなければ参加されない。こちらから出ていかないと、門戸だけ開いておいて若者が議会と話そうとすることはありえない。何か仕組みを考えていかなければならない。

<山本委員>

子育て中の母親は、こういう場が欲しいと思っても、なかなか自分からは言えない。こちらからの投げかけ方も難しい。考えていかねばならない。

< 木曾議長 >

門戸を広げて待つだけでなく、積極的に行う必要がある。議会の認知度を高めるためにも、飛び込んで意見を聞く姿勢が必要。自治会を回っても参加されない人の意見を吸い上げるためには、各種団体に行って意見交換する場を持った方が良い。行って初めて現状が分かる。

< 菱田委員長 >

アンケートに「区役員以外参加人数も少なく、関心が無い。広報に努めるべき」という意見があるが、ペーパーで出してもHPに書いても伝わらない。「議会がこんなことをしている」とこちらからプレゼンをしないと、ホームページを見てみようという気持ちにならない。議会全体がどういう考え方で、どういう思いで動いているのかを示していかなければならない。基本条例に「行動する議会」を明記しているが、門戸を広げて待っているだけでは行動する議会とは言えない。基本は議会としての基幹がどこにあるかということ。どんどん前に出ていくべきである。各種団体やテーマを設けて市民と広く懇談するという、今の議会報告会とは異なる取り組みを行っていくべきである。

< 木曾議長 >

今のパターンの中でやるのは難しい。議員の中から会派を超えて希望を募り、グループを作って出かけていく方法もある。「議会」で行うのではなく、グループで行けるようにして参加を呼びかけていくのも1つの方法では。

< 菱田委員長 >

今後も積極的に取り組めるように、広報広聴特別委員会としてもアピールしていけるような取り組みをしていくべきである。そのような方向で今後進めていきたい。

3 その他

(1) 次回の委員会

1月21日(月)10時~

- ・議会だよりゲラ版での最終確認
- ・議会報告会について
- ・今後の委員会のありかたについて

< 菱田委員長 >

前回の会議において、今後の委員会のあり方について協議したが、その基本的な方向性を次回においても協議し確認を行いたい。 <了>

~ 11 : 30